
ブラインド・クロス

天枷 れんたろう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ブラインド・クロス

【Nコード】

N0515Z

【作者名】

天枷 れんたろう

【あらすじ】

この物語は、イルスと呼ばれる能力所有者監視機関の新人である主人公村雨柳次が敵能力保持者と戦いながらとある事件にまきこまれてしまう王道小説です。

序章（前書き）

このペンネームで初めて投稿になります。

すでに投稿されている他の作者達の小説を見本にしたためパクリっぽくなっています

がまあ読んでみてください！！

序章

序章

プロローグ

薄暗い廊下を歩き、一人の少年は一番奥の部屋に向っていた。

服は全身黒色。髪の色は黒色瞳の色も黒と、まるでカラスのような風貌をした少年だ。

周りに人の姿はなく、彼が廊下を歩く足音だけが辺りに響きわたった。

「休日ぐらいゆっくりさせろよ」

「そうですね。おそらくいつもの急な任務だと思います。」

周囲に人気は無くその声は少年の肩についていた携帯端末から聞こえてくる。彼が身につけているそれはアシスト・デバイスと呼ばれている、人工知能を持つ携帯端末の事だ。

「ま、それしかないだろうけどな。でも休みぐらいはゆっくりしたいんだよな」

「仕方が無いですよマスター。あなたはイルス期待の新人なんですから」

イルスというのは能力所有者監視機関グループの事だ。人間が1000万人に一人の確率で発生させる能力を持つ者の事を能力者といい、その暴走を防いだり、能力保持者の保護を主な活動にしている団体である。

「レイム。それは流石に言い過ぎだ。イルスの奴らは新人の俺なんかに期待なんて寄せちゃいないさ」

レイムと呼ばれたデバイスは否定の声を上げた。

「いいえ。幹部会の方々はマスタの仕事ぶりを見て関心してました。イルスに所属する能力者達もマスターへ興味を示しています。もしかしたら、近々模擬戦の挑戦を受けるかもしれませんよ?」

「……そんなめんどくせー事やれるかよ」

溜息をついてからしばらく進むと、少年とレイムとはある部屋の前に到着する。

『準司令官室』と書かれたプレートが自動ドアの隣に掛けられている。少年は黒服のポケットからカードキーを取り出し、扉を開ける中へと入り一番奥へ進むと、そこには広い部屋があった。

そこには、事務に使う机五つと四人掛けのソファが二つ。その間に長いテーブルが一つ。床は白いタイルで覆われていた。窓は前面ガラス張りで、外の景色を一望出来る贅沢な作りになっていた。

「休日に呼び出して悪かったですな柳次君にレイム」

ほっそりとした体格にスーツ姿。銀色の長髪は後ろで束ねられていて、穏やかそうな表情によく合っていた。

「全くだすよ。せめて任務は平日に入れてもらえませんか? 草壁さん」

少年に文句を言われ、くさかべ草壁 きりや霧耶は苦笑する。

「すいません。なにせ総司令の指示でして。新人、むらかみ村雨 りゅうじ柳次にレベルAの能力者保持者を確保させる、と」

「……レベルAって、俺新人ですよ?」

能力保持者にはレベルが存在し、上から順にA〜Eとランク付けされている。ランクAの能力者は、イルスに所属する有能な能力保持者が出向くレベルだ。

「ええ、仕事が終わりに次第家に帰宅してもいいようです。拒否権はありませんのであしからず」

柳次の元に近づいて、霧耶は手に持っているUSBメモリを柳次のアシスト・デバイスに差し込む。数秒後にはメモリを抜いた。

「ターゲットの保持する能力情報、並び現在地。もろもろのデータを転送しておきました。気をつけて行ってきたください」

「私敵にもお二人とはこれからは是非とも一緒に仕事がしたいですからね。」

「……………了解です。」

あまりにも無理やりで、準司令の前で柳次は深く溜息をついた。

序章（後書き）

次の投稿は学校が暇なときにおこないます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0515z/>

ブラインド・クロス

2011年12月1日22時49分発行